

医学部専門予備校 クエスト 解答速報

昭和大学（医） 英語

試験日 2 月 7 日（金）



1

1. C 2. C 3. C 4. C 5. B
6. B 7. B 8. A 9. D 10. A
11. B 12. B 13. C 14. A 15. A

【解説】

1. A, B, and what have you 「A や B や、その他色々」。間違えてよい。
3. 「携帯はダイニングテーブルの上にあると思っていたのに、コーヒーテーブルの上にあった」。a[the]+形容詞+one で、「～な形容詞の方」という意味にはできるが、coffee は形容詞ではない。child death などに見られる、不可算化した名詞を別の名詞の前において作る、複合名詞である。よって a[the]+形容詞+one の表現形式には当てはめられず、D を切れる。そもそも C にダメなところがない、と考えて積極的に C を選んでもよかった。
5. 後半の「半分近くは知らない」に当てはめると「いくつかはわからない」という表現にするべき。
7. a friend of mine 現象として授業で紹介した形式。a / the / this / that / these / those / any / some / no といった表現と所有格を同時に名詞の前に置くことができない。所有格を所有代名詞（my→mine）にし、of と合わせて後置修飾で設定する。
8. the late ~ 「(故) ~さん」。
13. 1V: do 「十分だ」

2

1. It is another that science has no connection at all to
2. (ア) in (イ) of (ウ) with (エ) of
3. (I) B (II) D (III) B (IV) B (V) C
4. たとえ理論と実験結果が一致したとしても、理論が根本的に正しいのか、たまたま今のところうまくいっているだけなのかはわからないから。

【解説】

1. かなり難。直後の these two misconceptions というところに注目すると、パラグラフ書き出しの a popular myth に追加で another popular myth がないと議論が成り立たない。故に It is another (popular myth) that ~とする。
4. 解答として書いた直前に「科学において確信できることは、理論と実験結果に齟齬が出た場合には、理論かそれを支えている前提部分に誤りが存在するということだけであるから」とあるが、本文この箇所は「齟齬がある場合」の記述なので入れない。今回聞かれているのは、a theory passes every test with ^{やすやすと} flying colorsと箇所に対する記述。

3

1. (IV)
2. (ア) it (イ) sun
3. an
※a unique opportunity が正しい。unique の u は「アイウエオ」の音ではないので、an としない。
4. D
5. ニューロン発火のデータを使うことで、研究者らは発せられた文に含まれる単語のカテゴリーやその配列はわかったが、文そのものを再現することまではできなかったということ。
6. 前頭前野の神経発火記録から、脳で単語はカテゴリ分けされ、神経群がそれぞれ担当分野を持ち対応していることがわかった。発火データから発された文に含まれるカテゴリや配列がわかるので、この研究は言語障害の治療に今後役立つだろう。

【解説】

5. 下線部主語の they が the researchers であることを読み取れないと解けない。